

# 災害復興住宅の内装間仕切りパネルについての提案

## 東日本大震災における災害公営住宅に向けた取り組み

平成23年度に発生した東日本大震災による復興公営住宅の事業について、当時、仮設住宅に居住する被災者の方々の住環境を改善するために、一刻も早い常設住宅の供給が強く望まれた社会情勢でした。

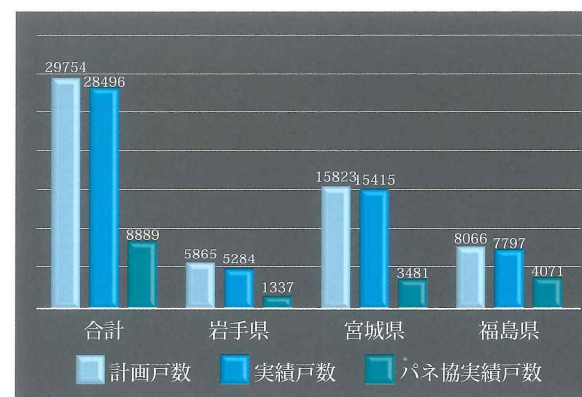
このような要望を受け弊組合はパネル工法の特徴である、内装現場での省人・工期短縮効果や施工精度の安定性といったメリットを生かし、約9,000戸に及ぶ復興公営住宅の内装を手掛けさせていただきました。また、昨今の職方不足に対応すべく全国組織である特徴を最大限に生かし全国から職方を動員し速やかで円滑な災害復興住宅建設に寄与することができました。

災害公営住宅に関するパネ協の実績（平成30年3月現在）

## その他災害復興住宅の実績

東日本震災復興住宅だけではなく、令和元年度東日本台風による水害復興住宅についてもパネル工法を採用していただき被災した公営住宅の復旧において貢献しております。

（福島県営住宅 鯨岡団地25戸）



	岩手県	宮城県	福島県	計
団地数	24	33	50	107
棟数	28	54	83	165
戸数	1,337	3,481	4,071	8,889

東日本大震災の復興住宅

以上の実績から災害復興住宅について間仕切りパネル工法を提案いたします。

# 災害公営住宅に向けた間仕切りパネル工法のメリット

## パネル工法のメリットについて

- 工種削減・現場の省力化による工期短縮
  - ・工場パネル製作を実施することにより、現場作業が省力化され、在来木軸工法・LGS工法に比べ全体工期の短縮が可能
  - ・間仕切りパネルには電気ボックス、配管を内蔵し、壁下地の石膏ボードを工場にて接着固定するため工種の削減が可能
  - ・工期短縮により工程管理が容易
- コストダウン
  - ・現場での施工作業の省力化による業種間の工程調整、検査など元請業者の負担の軽減
  - ・全体工期の短縮による間接費の軽減が可能
- 安定した品質
  - ・工場生産による間仕切りパネル・押入れユニット・造作材を使用することにより、品質の均一性を確保
- 産業廃棄物削減
  - ・工場生産による現場での産業廃棄物の削減が可能
  - ・パネル工場で不要となった石膏ボードは、石膏ボード工場で再利用
- 地場産材活用
  - ・木質パネルの芯材、造作材、下地材に地場産材を積極的に活用
  - ・合板、集成材、フローリングには地域内企業の製品を活用

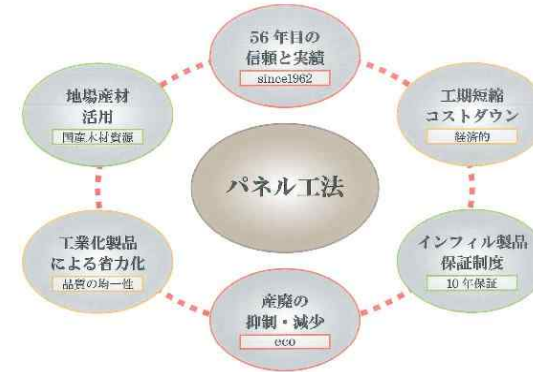


工場でのパネル製作



電気ボックス・配管を内蔵したパネル

## ■パネル工法のメリット



## ■在来木軸と内装パネル工法のコスト比較

【在来木軸工法】				
材料費	加工費	施工費	仮設費	諸経費
↓				
【内装パネル工法】				
材料費	加工費	施工費	仮設費	諸経費
				コストダウン

ハネ番器具

内装パネル工法は従来工法に比べ、施工費は20～30%程度、トータルで10～15%程度のコストダウンが可能です。

## 災害公営住宅の工事実施体制の整備について

- 造作大工の確保
- パネル、造作材などの生産体制の整備及び新規業者の開拓
- 主要建材、木材の調達先の調整及び確保
- 物流体制の構築（製品在庫の場所の確保、搬送体制の確立）
- 荷揚げ業者の確保（東北では荷揚げ作業の分業化は未成熟な状況でした）
- 職員、職人の宿舍確保



問い合わせ先 公益社団法人 建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会

Tel.043-225-7881 Fax.043-227-7867

お問い合わせ先 日本住宅パネル工業協同組合 .  
東日本支所 .

担当者名 上釜 修 .

部署 千葉営業所 .

連絡先 TEL 03-3947-7486 FAX 03-3947-7489.

メールアドレス osamu.kamigama@panekyo.or.jp.



お問い合わせ先 公益社団法人 建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会

Tel.043-225-7881 Fax.043-227-7867